

フッ素・昨日・今日・明日 ⑤

神戸市歯科医師会の活動報告

神戸市は昨年4月から市内全保育所4,5歳児約8,000人を対象にフッ化物洗口を始めました。これは神戸市歯科医師会が保育課に強く要望して実現した事業です。このことは、政令指定都市初として毎日放送、神戸新聞で大きく取り上げられ、全国的にも注目

されました。要望に際して歯科医師会は厚労省歯科保健課、保健医療科学院口腔保健部、大学、フッ化物洗口実施各地の歯科専門家、そして市会議員の協力、助言をいただきました。歯科医師会は実現に向け全力で取り組んだのです。その経過を報告します。

「保育所では昼食後の歯磨きが十分でなくて虫歯が心配。神戸でもフッ化物洗口できないでしょうか?」。ある保育課職員の一と言がきっかけで、児童福祉部長に要望書を出す

と、部長の「いいですね」のひと言で50万の予算がつき9保育所でモデル実施が始まりました。モデル実施は事故もなく、97%の児童が参加を希望し、前年比で0・93本う蝕減少、と順調でしたので、全園実施を要

望するのですが、担当係長は話にならず、助役に要望書を出しても梨の礫で、困っていた時、医師会の知人から「医師会は市役所の担当者と直接話をつける」と聞き、保育課に全保育所フッ化物洗口実施の要望に行きました。市会議員にも同行してもらいました。議員

にはフッ化物洗口の説明をし、これからの歯科医療は市民の歯の健康に寄与することではか存続し得ないことを説明しました。

ただ、フッ化物洗口について、わからないことばかりでした。担当した公衆衛生委員全員が「この委員会にしなければフッ素に詳しくならなかった」と言っています。大学、衛生士学校でのフッ化物応用法の教育は不十分です。特に集団

に際してはわからないことばかりで、全国の先生方に教えていただきました。地域でフッ化物洗口を推進する時、相談相手がいることは重要です。

そして、昨年4月要望が実現しました。予算500万で保育所児童8,000人のう蝕が減ります。歯科医師会は17年11月、市長も出席する市民フォーラムを開催し2つの宣言を発表

しました。「神戸の将来を担う子供たちのむし歯ゼロ宣言」と「定期健診の街づくり」です。4歳から15歳の集団フッ化物洗口実施で子供たちのむし歯を防ぐ。

定期健診で大人の歯周病を防ぐ。神戸市歯科医師会は市民の歯の健康のためにこれからも全力をつくします。(文責・日歯地域保健委員会)